

県産木材利用推進 プロジェクト

(プロジェクト概要編)

～もっと森林資源を循環利用して、山を元気にしましょう～

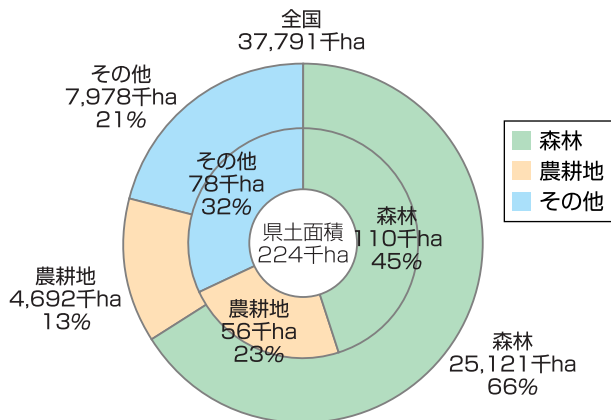


佐賀県では、県産木材の利用拡大による森林資源の循環利用を推進するため、「県産木材利用推進プロジェクト」を県民協働で実施しています。

みなさんは、佐賀県の「森林」と「林業」について知っていますか？

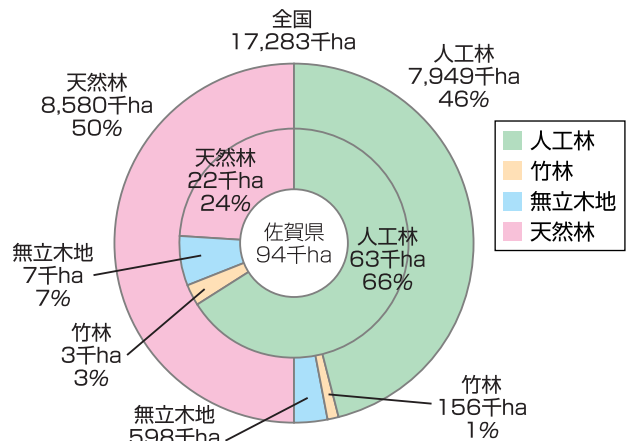
- 本県の森林面積は約11万ha
- 森林率は県土面積の45%で全国平均の66%に比べると低い
→**貴重な緑資源**
- スギやヒノキなど人工林の占める割合(人工林率)は66%で全国一

県土に占める森林の割合



※佐賀県森林・林業統計要覧

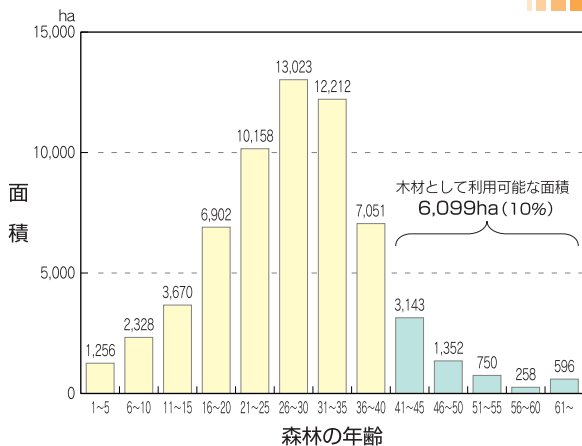
民有林における森林資源の現況



※佐賀県森林・林業統計要覧

戦後植林された人工林は、利用可能な大きさに育っています。

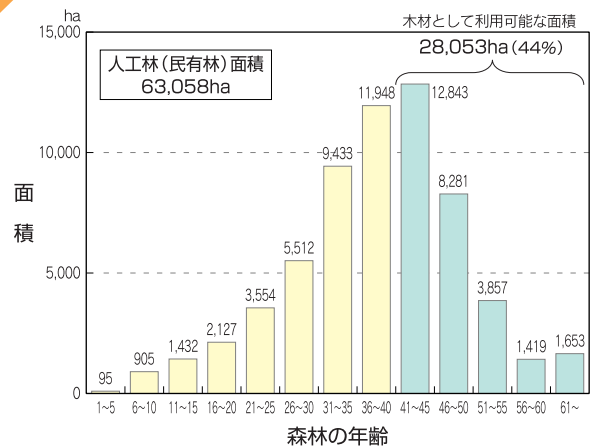
平成7年4月1日現在



※佐賀県森林・林業統計要覧

10年後

平成17年4月1日現在



※佐賀県森林・林業統計要覧

しかし、林業就業者や木材産業の従事者は減少しており、丸太の生産量も減少傾向にあります。

林業就業者 約260人

→ 10年前の約6割に減少

(資料:国勢調査)

(注)林業就業者とは、林業に従事した者

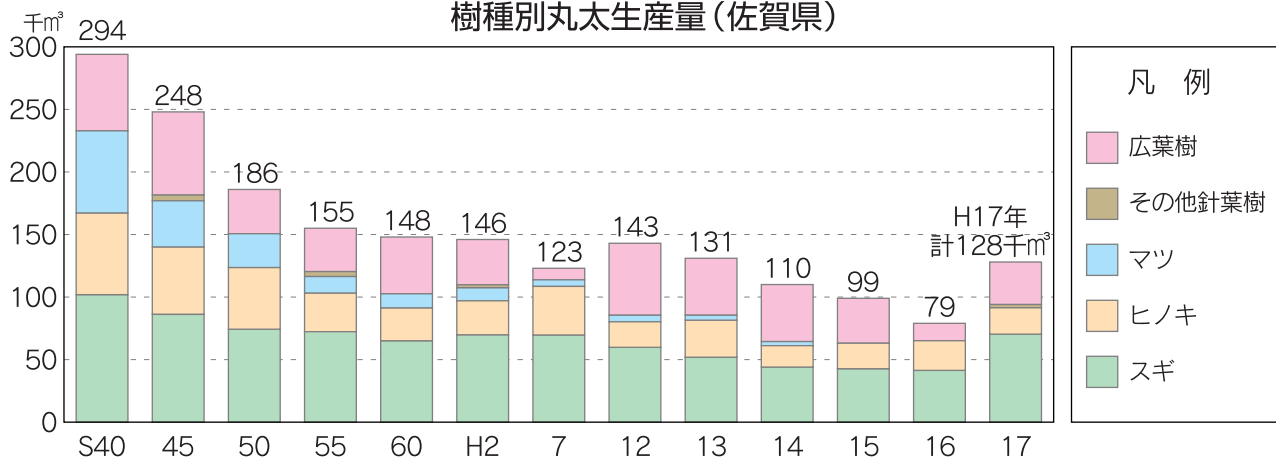
製材工場 約90工場

→ 10年前の約6割に減少

(資料:木材需給報告書)

(注)製材工場とは、丸太を切削加工して、柱や板などを生産する工場

樹種別丸太生産量(佐賀県)



参考:「木材需給報告書」農林水産省統計部

現在、県内では手入れ不足により、荒廃した森林が増加しており、このまま進めば、森林の持つ多様な機能が損なわれ、災害防止や地球温暖化防止などの面において、県民生活に影響を及ぼす恐れがあります。



平成18年9月に発生した土石流は、民家を襲い、甚大な被害となりました。



写真:九州地方建設局提供

佐賀県の森林・林業・木材産業の現状と課題

生産段階

- 人工林は利用可能な資源として充実
- 木材価格の長期低迷
- 林業の担い手が減少
- 機械化の遅れによる生産コスト高



木は細く、枝が枯れあがっている

林内には光が入らず
→雨で表土が流される
→ほかの動植物が生息できない



間伐がなされず、森林の荒廃が懸念されています。

流通・加工段階

- 製材業者の大半は経営規模が小さく、丸太が県外に流出
- 製材工場は設備が小規模で、製材コストが割高
- 人工乾燥施設が少なく、大工・工務店が求める乾燥木材の供給が困難



- ・県内製材工場の平均丸太取扱量は、九州平均の約半分
- ・県内の乾燥施設設置工場は3工場

安定的に県産木材が供給されていません。

消費段階

- 大工・工務店は品質の安定した乾燥木材を要求
- 需給情報の不足などにより、県産木材の調達が困難で割高
- 木材の良さは理解されつつあるが、県産木材の利用は不十分



住宅建築においてプレカット材が多く使われており、品質の安定した乾燥木材の需要が高まっている。

プレカット材とは、柱や梁などの部材を組み合わせる継ぎ手や仕口をあらかじめ工場で加工した木材のこと



県産木材はあまり使われていません。

さかの森林資源の循環利用を推進するため、 「県産木材利用推進プロジェクト事業」 に取り組んでいます。

○趣 旨

県民協働による県産木材の利用推進

木材の生産から流通・加工、消費に至る県産木材の供給体制の確立により、森林資源の循環利用を推進

名 称：県産木材利用推進プロジェクト

期 間：平成19年度～平成23年度(5年間)

推進事項：①木材生産拡大の推進

・低コスト生産体制づくり

②木材需要拡大の推進

・流通・加工システムづくり

・「木づかい運動」の展開

・住みたい木造住宅づくり



プロジェクトの数値目標

プロジェクトでは、県内の森林が適切に循環利用されるために必要な、県産木材の生産量及び県産木材の県内消費量を数値目標として設定しています。

区 分	現 状 (H15～17平均)	目 標 (H23)
県産木材(製材用丸太) の生産量	70,000m ³ /年	110,000m ³ /年
県産木材(製材品) の県内消費量	12,100m ³ /年	29,000m ³ /年

木材生産拡大の推進

高性能林業機械を活用した新たな間伐技術の確立と普及啓発等により、「低コスト生産体制づくり」を推進します。

- 列状間伐などの低コスト間伐モデル地区の設定
- 列状間伐などの実施に伴う高性能林業機械の利用促進
- 間伐などに係る森林施業の集団化・協業化



列状間伐



高性能林業機械

木材需要拡大の推進

品質の安定した乾燥木材の生産コスト縮減などにより、「流通・加工システムづくり」を推進します。

- 県産人工乾燥木材の生産技術の確立
- 「県産乾燥木材認証制度」の推進
- 県産木材の供給情報などの発信
- 県産木材を使用した「こだわりのある家づくり」の推進



製材加工



人工乾燥



認証県産乾燥木材



木造住宅

木材需要拡大の推進

県産木材の利用の意義や木造文化などの普及啓発を図る「木づかい運動」を展開します。

- 県及び市町の公共事業における木材利用拡大の推進
- 民間企業における内装木質化及び備品の木製品化の推進
- 木造文化や木材利用の啓発を行う「木づかい塾」などの開催
- 木とのふれあい活動などを行う「木工教室」などの開催



校舎の木造化



木工教室

木材需要拡大の推進

住宅建築部局とのタイアップにより、県民の皆さんに、県産乾燥木材を使用した木造住宅づくりを推進します。

- 県産木材を使用した家づくりの推進
- 大工・工務店などを対象とした木造住宅の普及啓発



県産木材を使用した家づくり



佐賀にふさわしい美しい
まちなみに暮らそう

佐賀の木・家・まちづくり協議会

県産木材利用推進プロジェクト が目指す姿

県産木材利用推進プロジェクト事業の推進事項を実行することにより、森林資源が循環して利用されている姿を目指します。



発行：佐賀県生産振興部林業課
企画編集：特定非営利活動法人 調和の森

(平成20年3月)



マスコットキャラクター-モクリン